

くさのクローバー新聞

急性扁桃炎

急性扁桃炎とは、口蓋垂（のどちんこ）の左右に一個ずつある口蓋扁桃に急性の炎症が起こる病気です。健康な人にも扁桃には色々な細菌がもともと潜んでいます。風邪ウイルスの感染や疲労がきっかけとなり、いつもはおとなしい細菌が悪さをして急性扁桃炎を発症します。

＜症状＞

1. 発熱（38℃以上の高熱であることが多いです。）
 2. のどの痛み、飲みこむときの痛み、痛くて食事が入らない
 3. 体がだるい
 4. 悪寒がする
 5. 首のリンパ節がはれることもあります
- 炎症が広がると扁桃周囲炎や扁桃周囲膿瘍（扁桃の周りにウミがたまりまます）を起こします。



急性扁桃炎を頻繁に繰り返す方がいらつしやいます。

反復性扁桃炎といいますが、年間4〜5回以上になると扁桃摘出術をおすすめします。

急性扁桃炎はのどの痛みが強いので、食事が入りづらくなりますが、脱水症状をおこさないように水分は必ず摂取しなければいけません！過労には気をつけ、十分な睡眠、栄養のある食事をしっかりと摂りましょう

また、過度の飲酒、喫煙は控え、喉を乾燥させないように

うがいを行いましょう！！



くさのニュース

先月号でもお知らせしたように、小坂先生がご実家のある広島で開業されるため10月末を持って退職されました。

診察や患者様一人ひとりへの説明も丁寧で、とても親しみやすい先生でしたので遠くへ行かれるのは少し寂しいですが、新天地でのご発展を願い、万歳三唱で送り出しました☆

☆院長からのお便りです(^^)☆


こんにちは。院長の草野謙一郎です。いよいよ花粉症が近づいてきましたね。毎年平均すると2月10日頃から花粉が飛び出します。昨年は例年の70%、一昨年は例年の25%しか飛びませんでした。今年の夏は戦後2番目に猛暑日が多かったですので、**来年の花粉はかなりたくさん飛ぶのでは**ないかと思っております。ぜひ、今のうちに対策をたてておきましょう。

舌下免疫療法は11月30日まで、鼻粘膜レーザー治療は1月31日までです。今現在、舌下免疫療法は58名の方が継続されています。

昨年11月から1月までに鼻粘膜レーザー治療を受けた方は37名です。それぞれ効果が出ております。いずれの治療も期間が決まっています。期間間際はとても混雑しますので、どうぞお早めにお願いたします。

各治療の詳細は当院ホームページや待合室にありますリーフレットに記載しておりますので、どうぞご覧ください。





〈患者様アンケートのお返事〉

先生、スタッフの方々、いつも丁寧で優しい対応をありがとうございます。
います。子どもたちも病院を嫌がることなく通院しています。

治療して治るのが早い、先生の判断が素晴らしい

家族みんなお世話になっております。受付の方々、みんな可愛らしく、
我が娘たちも皆さんのように働けたら嬉しいなと思います。

先生、看護師がよい。

先生の適確な指示等すばらしい。

通っていた耳鼻科が閉院（移転）になり、花粉症の時期はどうしよう
かと思っていたところ、子どもが学校帰りに寄っていたくさの耳鼻咽
喉科から花粉症の早期治療のお知らせが届きました。それを見て私も
受診しようと思ったのがきっかけです。受診してみると先生はよく話
を聞いてくださり、分かりやすく説明してくださるので納得して安心
して受診しています。

今回、舌下免疫療法を受け始めたのですが、受けるまで不安もありま
した。前に送られてきた舌下免疫療法の説明や当日のタブレットでの
説明などでよく理解できました。

清潔感があって綺麗。院内の空気もきれいな感じがして安心する。
掃除が行き届いていて衛生的・清潔感がある。

事前に携帯で予約ができて、待ち時間が分かるので利用しています。
子どもたちはガチャガチャができるので嬉しいようです。
お陰で耳掃除に行くのを嫌がらなくなりました。

オンライン予約ができることで、今の混み具合や予約状況が
分かり便利。遠方ですが通院しています。

アイチケット、大変助かっています。時間が分かるので、予定がたち
やすいです。先生の対応とてもすばらしいと思います。本当に安心し
てお任せできます。看護師のみなさんもニコニコ丁寧に接して頂けて
こちらも気持ちが良いです。

泣く子どもに対して、ものすごく対応が良く感じられました。
皆さんは静かに声かけをされ、子どもの心理がわかっている様に思え
ました。それにスタッフ全員が説明などわかりやすくグスグスした方
がいないのが素敵です。

たくさんのお意見ありがとうございます。

これからもみなさまに満足していただけるよう、努力してまいります。

